



誰もが平等に社会参加できる 「共生社会」の実現を目指す

香川県

株式会社グランド商事・アドバンス

「多角的な障がい者支援の継続」事業



株式会社グランド商事・アドバンス
代表取締役 会長・社長

平山 剛さん

社会福祉協議会への継続的な寄付や 知的障がい者の健康増進に寄与

香川県高松市に本社を置き、香川県、徳島県、東京都、大阪府、滋賀県に17ホールを展開する株式会社グランド商事・アドバンスは、地域・社会貢献活動として、植林活動、フリーマーケット、避難場所提供、地域清掃活動、被災地復興支援、スポーツ大会ボランティアなどに積極的に取り組んでいる。

特に、障がい者の支援に重点を置いており、障がい者雇用に力を入れているほか、社員教育においても公益財団法人「日本ケアフィット共育機構」が認定する「サービス介助士」の資格を取得させ（現在、社内に36名）、お客様や地域のイベント活動の中で細やかな人的支援活動を積極的に行い、地域住民や自治体から高い評価を得ている。ちなみにサービス介助士とは、高齢の人や障がいがある人を手伝うときの「おもてなしの心」と「介助技術」を持ち、相手に安心していただきながら手伝いができる人のことである。

同社では障がい者の総合的支援を目的に、1989年からほぼ毎年、ホールのある高松市、宇多津町、美馬市などの主要自治体の社会福祉協議会に寄付を行い、社会福祉活動の充実に寄与している。また、高松市にある障がい者継続就労支援施設である社会福祉法人「ひかりエコ・エンジニアリング会」に対してパチンコやスロットなどの廃棄台を定期的に提供し、それを就労者が根気よく分類解体することで、生きがいややりがいにつながるような支援を続けている。

さらに知的障がい者の体力づくりや健康維持の観点から、スペシャルオリンピックスの活動に賛同し、協賛や人的支援を行っている。昨年3月には、高松市の屋島レクザムフィールドで開催された「スペシャルオリンピックス日本・香川設立10周年記念事業チャリティラン」に協賛した。このイベントは400mトラックを最大1時間で周回するというもので、120名が参加して行われたが、同社の従業員4名が事務局ボランティア、6名がランナーとして参加した。



ホール内に「サービス介助士」の資格を取得したスタッフがいることを周知する看板を設置



長期に渡る社会貢献活動に対し贈られた多数の感謝状